

2019年5月23日

ScandiNova Systems AB

スカンジノバ・システムズ株式会社

日本初開催 第9回スカンジノバ ユーザーズ ミーティングのご報告

2019年5月23日/東京

第9回目となりましたスカンジノバのユーザーズ・ミーティングは、初の国内開催となり、コートヤード・バイ・マリオット 東京ステーション (トラストシティ カンファレンス・京橋)を舞台に、5月15日(水)から17日(金)の3日間開催され、国内外の科学技術分野、放射線利用の医療/工業分野そして食品プロセス分野から約50名のユーザー様にご参加頂きました。

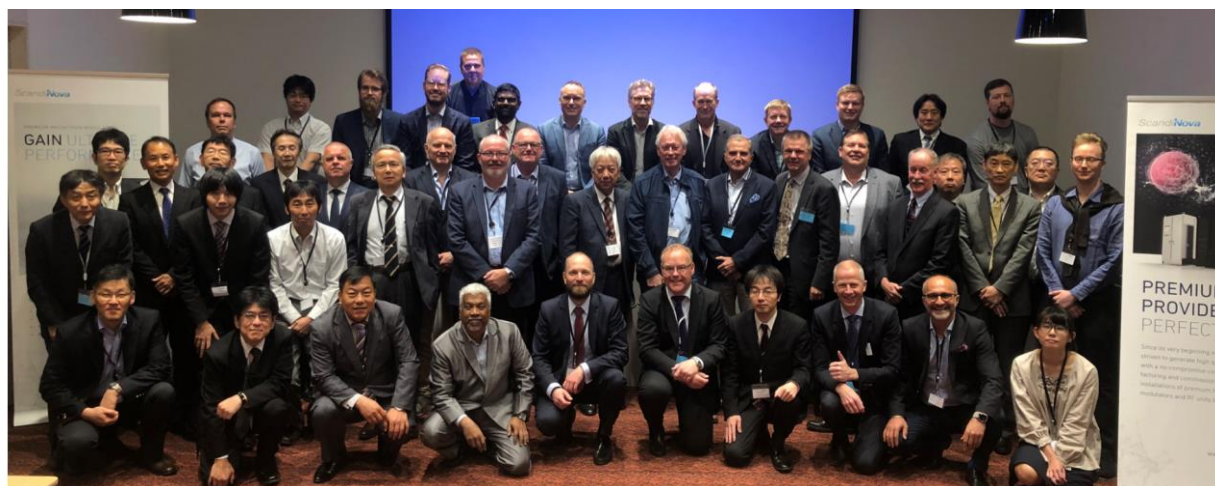


また、今年度は初の日本開催ということもあり、初日にはチュートリアル・セッションを開催し、将来的なポテンシャルのユーザーの皆様にもご参加頂きましたと共に、テクニカルツアーでは、高エネルギー加速器研究機構(KEK)殿の全面的なご協力を得まして、PF/super-KEKB 衝突点/c-ERL/STF/LINAC・RRの見学を時間が許す限りご案内頂きましたことを感謝いたします。



スカンジノバからは、最新製品情報のアップデートにて、新型 E-GUN モジュールの紹介、新型電源の紹介、コントロールシステムのアップデート及び顧客向け特殊仕様例等の製品紹介、そしてトレーニングセッションと非常に有意義なものとなりました。また、アジアセッションとユーザーの皆様からの様々なプレゼンテーションでは、分野に関わらず多様な情報交換ができましたことをうれしく思います。





次回ユーザーズ・ミーティングは、2020年5月6日～8日にパリで開催予定です。
詳細は、別途ご案内いたします。

スカンジノバ・システムズの製品に関しまして

スカンジノバ・システムズのモジュールは、一般商用の半導体スイッチ(IGBT/実使用-1.2kV)と Split Core™と呼ばれる特殊なパルストランスを組み合わせシステム化することで、無理なく高電圧(-500kV)を生成することができるもので、これによりパルス間の制御を可能とし、高い安定性と信頼性の製品を提供しています。

一般的に 30kV 以上の高電圧電源は、PFN(Pulse Forming Network)と真空管スイッチ(サイラロン)を使ったモジュールがまだに広く使われていますが、サイラロンの品質や寿命問題をかかえており、近年では半導体スイッチ方式の様々な研究/開発が取り組まれ、そして世界的に技術の移行が進んでいます。

スカンジノバ・システムズは、1998年に1号機を開発し納入以来、様々な改良を重ね世界特許も取得し、2004年以降世界の加速器市場で大きく実績を上げています。

スカンジノバ・システムズは、今後ともより良い製品の開発/研究を進めて参りますとともに、科学技術分野のみならず、医療/民生そして食品業界に至る、お客さまのニーズに合ったソリューションの提供を通じて、各国・地域の皆様の発展に貢献していきます。

高エネルギー加速器研究機構(KEK)

高エネルギー加速器研究機構(KEK)は、加速器を使って電子や陽子などの粒子を光の速度近くまで加速して高いエネルギーの状態を作り、基礎科学(素粒子・原子核に関する実験・理論研究、生命体/物質の構造・機能に関する研究、並びに加速器の性能向上に関する研究)を推進する研究所です。<https://www.kek.jp/ja/About/>



お問い合わせ先

[日本]

スカンジノバ・システムズ株式会社
〒106-0032 東京都港区六本木一丁目 10 番 3-901
CEO 湯城 磨
電話: 03-5545-5313
osamu.yushiro@scandinovasystems.com

[スウェーデン]

ScandiNova Systems AB 渉外担当責任者
Erik Sundström (エリック サンドストローム)
電話: +46 70 395 33 95
erik.sundstrom@scandinovasystems.com

ScandiNova Systems AB に関しまして

ScandiNova System AB は、独自開発したパルス技術により、大出力のパルス電源の開発/生産において世界をリードする屈指のメーカーに成長しました。私たちの製品ラインナップには、半導体スイッチを搭載したパルス変調器、パルス発生器、そしてターンキーとしてマイクロ波システムの取りまとめまで実施いたします。

応用例としましては、貨物検査、非破壊検査、工業用 X 線用途、滅菌などの工業分野に限らず、様々な加速器への展開そして放射線治療などに重要な役割を果たしています。私たちの生産/出荷の 95%以上はヨーロッパ、アジア、北米を中心とした 40 カ国のお客様向けに輸出されています。

ScandiNova Systems AB は、Scanditronix(スカンジトロニクス社/スウェーデン)が前身にあり、ここで加速器システムのノウハウを積んだ優秀な人材により、2001年に ScandiNova Systems AB が設立されました。スウェーデンのウプサラに本社を置き、現在の従業員数は 70 名を擁しています。

このニュースリリース記載の内容は、発表当日のもので、予告なしに変更され、検索日と情報が異なることがありますので、あらかじめご了承ください。